

上杉謙信公 ゆかりの史跡

戦国時代の雄将、上杉謙信公は幼名を虎千代、元服して景虎、出家して僧名を謙信、不識庵とも号した。上杉姓を名のるのは、上杉憲政のあとをつぎ、関東管領職となってからである。

謙信公は父為景の没後14歳の時、中越地方鎮撫のため栃尾城に入城し、旗揚をした。6年にわたる滞在で数々の武勲を打ちたて、国の内外にその名声はとどろいた。天文17年(1548)19歳のとき栃尾衆を引きつれて春日山城に入城、越後の国主となる。



◆◆探訪1◆◆

常安寺

瞑想にふけた謙信公の
姿を偲ばせる古刹。

常安寺

天文16年(1547)、謙信公によって創建された古刹。開山は謙信公の学問の師、門察和尚。上杉氏の手厚い保護で、隆盛を誇った。現在の本堂は昭和54年に再建されたもの。

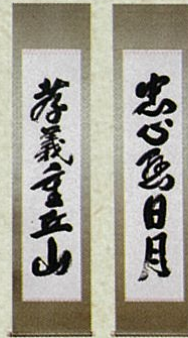


上杉謙信並二臣像
(県指定文化財・常安寺蔵)

謙信公と家臣(直江山城守・鬼小島弥太郎)を描いたと伝えられる。構図・構成とも仏教絵画の流れをくむ。

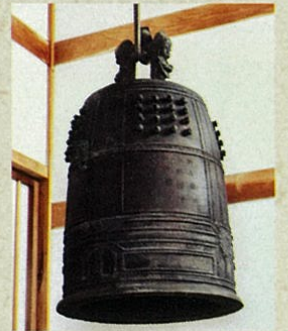
兜の前立 (市指定文化財 ・常安寺蔵)

謙信公が関兵や儀式の際に兜に着用したもの。疾走する靈狐に飯綱権現が前向きに乗っている。



謙信公筆五言対句 (県指定文化財・常安寺蔵)

「忠心懸日月、孝義重丘山」、力強い線質から積極的な性格が読みとれる。



瑞麟寺梵鐘 (県指定文化財・常安寺蔵)

謙信公修行の寺、瑞麟寺に伝わる名鐘。500年の歴史を刻んだ梵鐘の響きは、瞑想にふけた若き日の謙信公の姿を偲ばせてくれる。

◆◆探訪2◆◆

秋葉公園

謙信公、修養勇躍の
舞台を尋ねる。



謙信公銅像

左手に数珠、右手に軍扇、腰には刀を差している。「越後の虎」とよばれるほどの風貌があったといわれる謙信公を再現している。



秋葉三尺坊大権現 (秋葉神社)

天文20年(1551)、謙信公が常安寺の守護神として遷宮した神社。火伏せの神・秋葉信仰の二大霊山の一山として、江戸時代に幕府から火防日本総本廟の称号を与えられた。



奥の院

奥の院は弘化3年(1846)に落慶したもので、土台から破風に至るまで、石川雲蝶と熊谷源太郎の彫刻で埋め尽くされており、市の文化財に指定されている。



秋葉の火祭り

三尺坊の命日、毎年7月24日に開催。善男善女が無病息災・家内安全を願い、合掌して火渡りをする。



もんさつおしょう 門察和尚の墓

謙信公幼少時代の学問の師。当時比類なき学識をうたわれた。瑞麟寺5世として、常安寺を開山した。

謙信廟

大正4年、米沢の上杉家から謙信公の位牌を分霊して祀った石碑の御廟所。



◆◆探訪3◆◆
史跡

守門大明神

大同年間(806年頃)に守門岳を祀って建立されたといわれる。天文13年(1544)に謙信公に米代として社領を寄進されて以降、長尾家の庇護のもと強大な勢力を誇った。その後、慶長三年に上杉氏が会津へ移った際、守門大明神と宮司一族も会津に同行した。



瑞麟寺跡
(栃尾宮沢)

謙信公幼少の頃、この寺で5世門察和尚の修行を受けた。

岩野蔵王堂

秋葉三尺坊はこの地で修行し、飛行自在の神通力を得たと伝えられている。この地方の修験者の一大中心地として、最もさかんな時には蔵王堂を中心に十二坊もの堂坊が立ち並んでいたといわれる。



将軍地蔵
(栃尾大野町)

古くから庶民生活の守護神として信仰されてきたが、謙信公栃尾在城の頃から城の守護神としても尊ばれたと伝えられている。

鬼小島弥太郎
戦死の地・天神山跡
(現:おおの苑)

謙信公の勇臣、鬼小島弥太郎はこの地で戦死したといわれている。

正覚庵

謙信公の母虎御前のために立てられた庵で、妙雲、貞全、妙泉、本瑞の4人の比丘尼と共にここで起居され、永禄11年5月11日亡くなられた。遺請によってこの庵に埋葬された。

◆◆探訪4◆◆
栃尾城跡

栃尾城跡(県指定文化財)

市街地の西方に天高く城型のシルエットを描いているのが栃尾城のおかれた鶴城山(227m)である。栃尾地域内には20を超える砦(支城)が築かれ、消長を遂げてきたが、これらの中心(本城)をなした。南北朝時代の創始といわれ、本丸以下の諸曲輪を空堀で仕切り、さらには山腹まで掘通した大規模な縦壕などがある。また、膝下には、領主の館や家臣の屋敷を集めた根小屋(運営集団)をおき、さらに商工市場をその下流においた抜群の威容を誇る壮大な根小屋式の県内屈指の城郭である。謙信公は若き日、この栃尾城にいて城主・本庄実乃の補佐により中越の動揺を鎮め、全国制覇への夢を馳せた。

栃尾城跡図

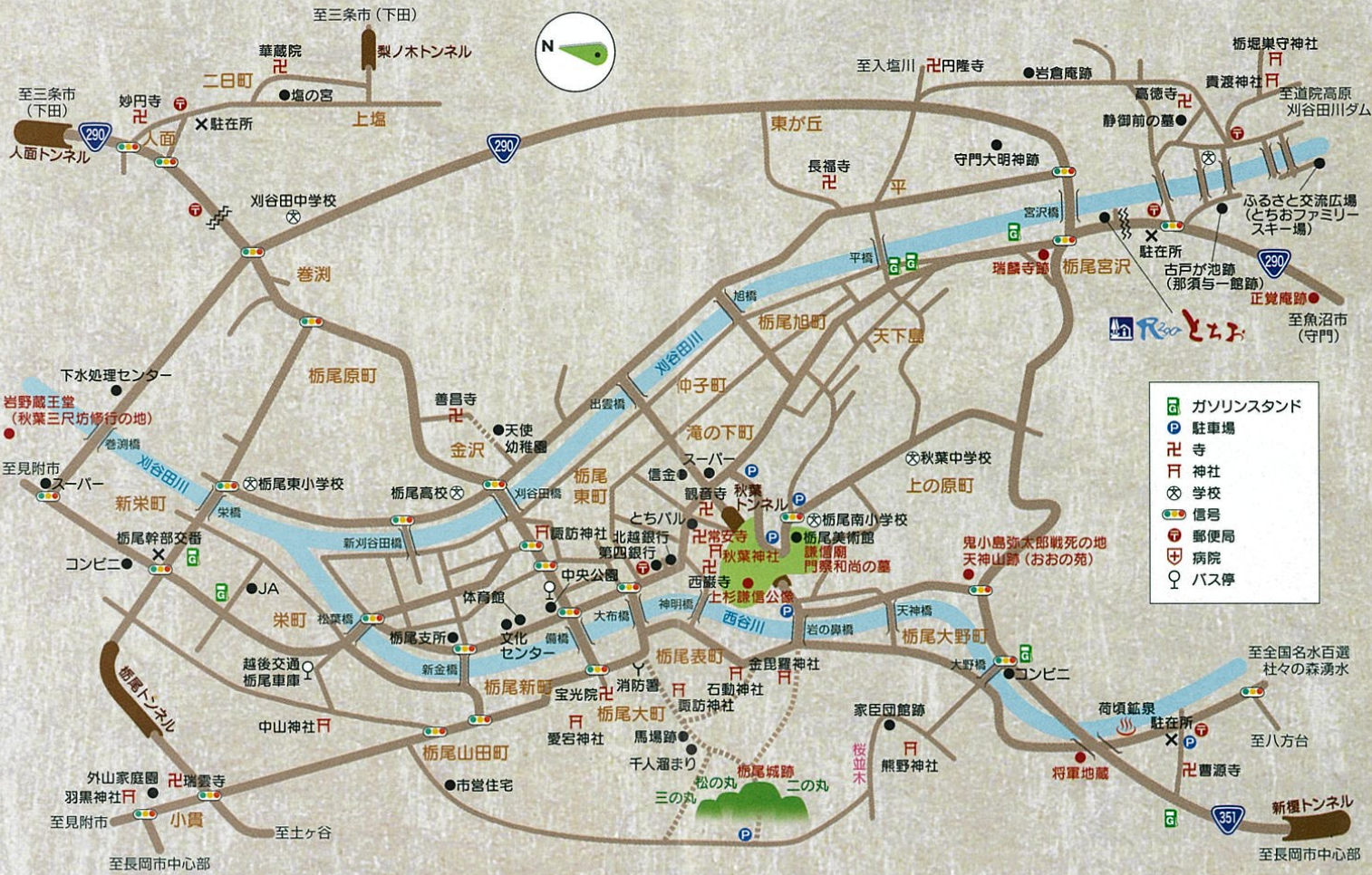


謙信公が旗揚げした由緒ある山城。



ぶらり栃尾散策マップ

戦国の名将、上杉謙信公は、ここ栃尾で青年期を過ごし、ロマンに満ちた雄大な生涯の礎を築きました。そんなこの街をぶらりと歩くと、若き日の謙信公の姿が見えてきます。



ウォーキングコース (所要:約半日)



ドライブコース



秋葉公園案内図

ここには、謙信公ゆかりの旧跡のほかに、ふるさとの山河を詠んだ句碑、栃尾の発展に尽した人達の碑がある。街がどんなに変わっても、この場所だけは昔と変わらぬ風が吹いているようだ。

刈谷田川合戦伝承

- 三条の俊景は瑞麟寺にいる景虎(謙信公)を討つため股野河内を遣わした。このことを知った景虎は河原で遊んでいた子供と着物を取り替えて、敵を欺いた。
- 武将として栃尾城に入城した景虎を討つため俊景は自ら兵を率いて攻めて来る。これを見た景虎は観音寺裏手から本村にかけて逆茂木をひいて寨を作り俊景の攻撃を痛破し敗走させる。
- 俊景は総勢一万三千の兵を両隊に分け、六千を黒田和泉に率いさせて搦手を、自らは七千を率いて大手を攻める。景虎は搦手の戦争を片付けて兵をまとめ、大手の戦いで猛将俊景を射止め、快勝を得る。
- 俊景亡き後、三条方の主将昭田父子が栃尾に攻めて来るが、柿崎和泉が寝返ったため、三条勢は混乱に陥り、四分五裂となって潰走した。
- 晴景方の上田勢が五千の兵を率い大手口に攻めて来る。何度かの戦いの後、上田勢は夜陣の仕度にとりかかったが、これを見て景虎は「敵は小荷駄を持っておらんぞ。長陣しようにも出来まい」と云い、敵が引きとりにかかっているところを襲撃する。栃尾勢は上田勢を散々に追い散らし、米山峠の戦いで、決定的勝利を勝ち得る。



上杉謙信公の生涯

享禄三年	(1530)	1月21日、春日山城(上越市)で長尾為景の子、景虎(幼名・虎千代、のちの上杉謙信公)生まれる。
天文十二年	(1543)	景虎還俗、栃尾城に入り、旗揚げする。(14才)
天文十三年	(1544)	守門大明神に米代として、社領を寄進する。
天文十四年	(1545)	黒田秀忠(弥彦)を伐つ。
天文十六年	(1547)	常安寺を開山する。
天文十七年	(1548)	景虎、兄晴景の養子として春日山城主になり、越後の守護代を務める。
天文十八年	(1549)	郡司不入の特権を瑞麟寺に与える。
天文二十年	(1551)	常安寺開基の験として般若院の所有財産と法用寺の寺領を寄進し、秋葉三尺坊(般若院)を遷宮。
天文二十二年	(1553)	2月10日、兄長尾晴景没。母虎御前のため、正覚庵を造る。川中島へ出陣。(第一回川中島合戦) 第一回上洛。後奈良天皇に拝謁し、天杯と御剣を賜る。
天文二十三年	(1554)	父為景の十七回忌を常安寺にて営む。
弘治元年	(1555)	犀川を挟んで、武田軍と対戦。(第二回川中島合戦) 後奈良天皇から清瀧山護国報恩常安禅寺の宸翰の額が常安寺に贈られる。

弘治二年	(1556)	3月、景虎は出家の決意を固めるが、8月に政景らの懇請を受け入れ、出家を断念。
弘治三年	(1557)	信濃上野原で戦う。(第三回川中島合戦)
永禄二年	(1559)	第二回上洛。
永禄三年	(1560)	越中に出陣。富山城主神保良春を攻める。関東出陣。春日山城の普請を命ずる。
永禄四年	(1561)	小田原城を包囲する。3月、関東管領上杉氏を相続、上杉政虎に改名する。川中島へ出陣。(第四回川中島合戦) 12月、上杉輝虎に改名する。
永禄七年	(1564)	川中島へ出陣。(第五回川中島合戦) 12年の戦いに幕を引く。
永禄九年	(1566)	上杉謙信並二臣像を常安寺に寄進する。
永禄十一年	(1568)	母虎御前、門察和尚没。
元亀元年	(1570)	上杉謙信と改名する。
天正五年	(1577)	能登へ出陣、七尾城を攻略。
天正六年	(1578)	3月13日、謙信公没。

市外からのアクセス



新潟空港

新潟空港よりJR新潟駅まで…………… シャトルバスで約30分

JR長岡駅

JR新潟駅からJR長岡駅まで…………… 新幹線で約20分

JR東京駅からJR長岡駅まで…………… 新幹線で約90分

◎柝尾車庫前行バス50分、中央公園前下車

◎自家用自動車を使用の場合…………… 約30分

関越自動車道

◎長岡I.C.から約40分

国道8号を新潟方面へ向かい川崎I.C.から国道351号を走れば柝尾に到着。

◎小出I.C.から約50分

国道252号を守門方面へ向かい国道290号を走れば柝尾に到着。

北陸自動車道

◎中之島見附I.C.から約30分

国道8号を長岡方面へ向かい川崎I.C.から国道351号を走れば柝尾に到着。

観光ガイドクラブのご案内

市街地を中心に柝尾の名所をご案内。また、希望に応じて、地元の人しか知らないスポットもご案内します。(詳細は要相談)

お問い合わせ：柝尾観光協会(道の駅R290とちお内)

TEL (0258) 51-1195

お問い合わせ

◆長岡市柝尾支所商工観光課

〒940-0298 新潟県長岡市金町2丁目1番5号

TEL (0258) 52-5827

FAX (0258) 52-3990

ホームページ <https://www.city.nagaoka.niigata.jp/kankou/rekishi/ijin/kensin.html>

◆一般社団法人 柝尾観光協会

〒940-0233 新潟県長岡市柝尾宮沢1764番地

TEL (0258) 51-1195

FAX (0258) 51-1190

ホームページ <http://www.tochiokankou.jp/>